

# 4. C でプログラミング

## 例題とするCの処理系

色々な C, C++, C#の処理系がありますが、手軽に手に入るもののひとつに、Microsoft Visual Studio .Net C++ Express Edition が Microsoft 社の Web から無料でダウンロードできます。

C++は C の上位互換ですから、C++独自の記述方法を避ければ、C の勉強に使うことができます。

更に、テンプレートでコンソールアプリケーションを選択すれば、Microsoft のGUIを前提としない裸の C の勉強に使うことができます。

Visual C++6 をお持ちの方も、コンソールアプリケーションを選択すれば、かまいません。

ただし、.NET の C++ではインクルードファイル名(後述)等、細かい点が異なりますが、これらは無視することにしましょう。

[例] `stdio.h` ⇒ `stdafx.h`

お小遣いに余裕のある方は、ちょっと高価な書籍を購入すれば、Borland C++の処理系が無料で添付されているものもあります。

こちらのほうは、インクルードファイル名の違いがありません。本書では、Visual C++6 や.NET Express Edition を使って説明します。別の処理系を使う人の場合、操作方法については、そちらのマニュアルを参照してください。

## とにかくやってみよう

まず、Microsoft Visual C++ 6 や.NET C++を起動して、「ファイル」「新規作成」(.NET 2010 では「ファイル」「新規作成」「プロジェクト」)を選択します。



## (1) プロジェクト名と格納位置の指定

「新規作成」ダイアログが表示されますので、次のように操作します。

- ① 「プロジェクト」タブで「Win32 Console Application」を選択します。.NET 2010 では「インストールされたテンプレート」で「Visual C++」が選択されていることも確認しましょう。
- ② プロジェクト名を指定する。
- ③ 「位置」(.NET 2010 では「場所」)指定欄の右のボタンをクリックします。

